



すずらん通信



5月号 令和2年5月10日 発行

すずらん農園ではイチゴが赤く色付き始めました。良いお天気が続き、最近は毎日採ることが出来ます。散歩を兼ねて畑まで出かけて頂いています。マスクを着用し玄関を出る前に「もし、ご近所の方と会っても会釈をする程度でおしゃべりは出来ません」とご説明させて頂いています。人と人との関わりを考える毎日です。今までホームでは、寄り添った関わりをと考え、地域の方々との関係性を大切にと進めて参りました。出来る限りご家族様にも来所頂き、地域のボランティア様の力をお借りし利用者様の生活を組み立ててきました。現在は利用者様と職員と一緒に食事を摂ることを中止するなど感染症対策が中心となっています。何より全職員が毎日マスクを着用しケアにあたっています。表情が分かりにくく、認知症状のある方に不安を与えるものになってしまっていると思います。言葉によるコミュニケーションが十分に取れない方も多い中、やはり「笑顔」は大切です。緊急事態宣言が介助された後も、グループホームでの生活様式について変化せざるを得ないのかもしれませんが、運営理念でもある「いっしょに支え合うケア」を再検討していきたいと思っています。



竹の子ご飯作り
ました。



4月21日より、専務として入社いたしました。

はじめまして。社長の息子の貴臣です。
大学を出て15年間介護に携わってきましたが、未だに認知症ケアの難しさ、奥深さ、楽しさを感じています。これからスタッフと一緒に成長し、利用者様やご家族に「すずらんに入って幸せだ」と思ってもらえるよう精一杯取り組んで参ります。
今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

駒瀬 貴臣

